

南伊勢町地域医療・ケアビジョン

～～病気を治す医療から人の生活を支える医療へ～～

令和3年 9月
南伊勢町

南伊勢町は、高齢化、人口減少および患者の受療動向の変化等を見据えて、医療・介護・予防・生活を包括的にとらえ、町民にとって必要かつ最適な地域包括ケアシステムを構築し必要な人に必要なサービスを適切に提供できるようにしていくことで、町民の「安心」を支えます。

そして、その基盤として「南伊勢町地域医療・ケアビジョン」を策定し、地域医療・ケアを守ります。

「医療」「介護」「医療と介護」

その人(本人)にとって必要なことは変わっていきます

「病院」から「自宅」へ、「施設」へと生活の場も変わっていきます

その人(本人)や家族の「環境」はどうか

「その人(本人)の思い」、「家族の思い」はどうか

医療や介護・福祉のサービスが必要となったときに、必要なサービスを適切に提供するためには、一人一人の状態に合わせて判断していく必要があります。

そのためには、医療の立場から、目の前の病気や障がいだけでなく、その人の生活を見て考えていくことが大切であると考えます。

そして、できれば病気にならないように、

病気になっても早期に発見して、治療開始できるように、

そのためには一人一人が自分の健康に対して関心をもってもらうことがとても大切です。

1、2025年の課題

町民を取り巻く環境……人口減少・高齢化・医療の進化・受療動向の変化
町民の姿……慢性疾患を管理しながら家で暮らす高齢者の増加と
家族など従来型の支援力の低下

町民の暮らしを支えるための
医療・介護・福祉の専門職の負担増

専門職の確保は
難しい

2、町民にとって必要な医療・ケア

◇身近なかかりつけ医による診療・入院・退院等への支援
適正な診療と入院
退院後の生活への目配り
⇒介護・福祉・地域との連携
救急の対応
◇予防と早期発見の取組み

病気を治す
医療から
町民の生活
そのものを
支える医療へ

3、南伊勢町地域医療・ケアの基盤整備

当町は町立病院を基軸に、地域の限られた医療・介護・福祉の資源を連携して有効に活用し、町民にとって必要な医療・ケアを継続する体制を整えます。

そのため、公の施設である町立南伊勢病院と南島メディカルセンターの機能再編を進めます。